



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月7日

上場会社名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション 上場取引所 東 名
 コード番号 1712 URL http://www.daiseki-eco.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 利彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理本部長 (氏名) 村上 実 TEL 052-611-6350
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	15,374	67.4	2,092	117.1	2,098	118.3	1,323	139.5
27年2月期第3四半期	9,180	27.8	963	20.6	961	21.2	552	30.6

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 1,350百万円 (123.4%) 27年2月期第3四半期 604百万円 (9.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	94.72	—
27年2月期第3四半期	39.54	—

当社は、平成27年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株に分割しております。これに伴い、前連結会計年度（平成27年2月期）の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第3四半期	14,556	9,645	64.6	673.30
27年2月期	12,377	8,364	66.0	584.76

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 9,407百万円 27年2月期 8,170百万円

当社は、平成27年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株に分割しております。これに伴い、前連結会計年度（平成27年2月期）の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年2月期	—	6.00	—	—	—
28年2月期（予想）	—	—	—	3.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株に分割しております。なお、平成27年2月期及び平成28年2月期第2四半期末の配当金については、当該株式分割が行われる前の金額を記載しております。

3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	40.1	2,294	87.1	2,300	88.2	1,390	94.4	99.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成27年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株に分割しております。これに伴い、平成28年2月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社に移動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積り変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年2月期3Q	13,972,600株	27年2月期	13,972,600株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年2月期3Q	29株	27年2月期	一株
----------	-----	--------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年2月期3Q	1,397,596株	27年2月期3Q	13,972,600株
----------	------------	----------	-------------

当社は、平成27年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株に分割しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済み株式数（普通株式）を算定しています。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、中国及び新興国の減速等による世界経済の不透明な状況が続いたものの、企業業績の改善、設備投資の持ち直し、個人消費の底堅い推移等により、全体として緩やかな回復基調が継続しているものと思われま

す。当社グループの業績に大きな影響を及ぼす不動産市況は、ここ数年減少傾向にあった土地取引は、平成24年を境に概ね持ち直し基調が継続しております。また、住宅市場においては、政府による住宅取得支援策の効果もあり、持ち直し基調が継続いたしました。加えて、建設業界においては、建設技能労働者・建設資材等の需給動向には留意が必要ではありますが、公共投資は底堅く、民間設備投資も回復基調で推移する中、総じて堅調に推移しております。このように当社グループを取り巻く環境は一部懸念材料を抱えた状況ではありますが、比較的堅調に推移してまいりました。

このような背景のもと、土壌汚染調査・処理事業を中心に、リサイクル分野や環境分析分野への展開も積極的に進める一方、外注費を含め広範囲にわたる原価低減を図ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高15,374百万円(前年同期比67.4%増)、営業利益2,092百万円(同117.1%増)、経常利益2,098百万円(同118.3%増)、四半期純利益1,323百万円(同139.5%増)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(土壌汚染調査・処理事業)

民間設備投資の回復など、当社を取り巻く環境は概ね堅調に推移してまいりました。そのような中で、営業体制の強化及びグループ会社間の連携強化による情報収集の強化等、新たな需要の開拓に注力してきたことに加え、大型案件の前倒し及び数量増等の結果、売上高13,710百万円(前年同期比67.0%増)、営業利益2,287百万円(同111.3%増)となりました。

(廃石膏ボードリサイクル事業)

当期より株式会社グリーンアローズ九州を連結決算に加えていることと、市況が回復傾向にあることで取扱量は増加しておりますが、株式会社グリーンアローズ中部の新工場稼働に伴う減価償却費の負担増が影響した結果、売上高856百万円(同49.4%増)、営業利益54百万円(同58.0%減)となりました。

(その他)

PCB関連事業の荷動きがやや低調でありましたが、バイオディーゼル燃料の出荷その他が概ね堅調に推移した結果、売上高931百万円(同75.8%増)、営業利益124百万円(同87.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は14,556百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりであります。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末比で1,783百万円増加し、6,577百万円となりました。これは主に、たな卸資産の減少308百万円はあったものの、現金及び預金の増加2,070百万円によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末比で396百万円増加し、7,978百万円となりました。これは主に、減価償却費378百万円はあったものの、機械装置及び運搬具の増加606百万円によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末比で169百万円増加し、3,878百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少660百万円はあったものの、未払法人税等の増加719百万円によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末比で728百万円増加し、1,033百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加800百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比で1,280百万円増加し、9,645百万円となりました。これは主に、四半期純利益1,323百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績が順調に推移し、平成27年9月30日付の決算短信にて発表いたしました業績予想を上回ったことにより、通期の業績予想を修正しております。
なお詳細は、平成28年1月7日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したことにより、株式会社グリーンアローズ九州を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込み額の期間帰属方法を期間定額基準から、給付算定式基準へ変更しております。また、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。
退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が45,290千円減少し、利益剰余金が29,257千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	918,914	2,989,104
受取手形及び売掛金	3,154,846	3,164,983
たな卸資産	526,514	218,407
その他	221,128	232,523
貸倒引当金	△26,573	△27,068
流動資産合計	4,794,830	6,577,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,524,575	1,750,667
土地	4,487,589	4,522,876
その他(純額)	940,144	1,141,819
有形固定資産合計	6,952,309	7,415,362
無形固定資産	6,860	8,775
投資その他の資産		
その他	665,515	594,539
貸倒引当金	△42,235	△40,036
投資その他の資産合計	623,279	554,503
固定資産合計	7,582,449	7,978,641
資産合計	12,377,280	14,556,592
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,350,607	1,404,186
短期借入金	1,500,000	840,000
1年内返済予定の長期借入金	—	299,796
未払法人税等	—	719,261
引当金	35,481	8,340
その他	822,561	606,735
流動負債合計	3,708,649	3,878,319
固定負債		
長期借入金	—	800,272
引当金	81,174	70,351
退職給付に係る負債	98,787	58,237
その他	124,245	104,276
固定負債合計	304,206	1,033,136
負債合計	4,012,856	4,911,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,248,438	2,248,438
資本剰余金	2,043,951	2,043,951
利益剰余金	3,780,317	5,009,805
自己株式	—	△39
株主資本合計	8,072,707	9,302,156
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,589	105,751
退職給付に係る調整累計額	△662	△173
その他の包括利益累計額合計	97,927	105,577
少数株主持分	193,788	237,402
純資産合計	8,364,423	9,645,136
負債純資産合計	12,377,280	14,556,592

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	9,180,226	15,374,225
売上原価	7,550,648	12,482,373
売上総利益	1,629,577	2,891,851
販売費及び一般管理費	666,060	799,435
営業利益	963,517	2,092,416
営業外収益		
受取利息	87	20
受取配当金	2,730	2,305
受取地代家賃	10,865	1,225
受取保険金	—	5,886
その他	6,588	2,054
営業外収益合計	20,272	11,492
営業外費用		
支払利息	2,092	5,549
固定資産賃貸費用	17,435	—
その他	3,199	207
営業外費用合計	22,727	5,757
経常利益	961,062	2,098,151
特別利益		
固定資産売却益	16,299	4,499
特別利益合計	16,299	4,499
特別損失		
固定資産除却損	775	216
特別損失合計	775	216
税金等調整前四半期純利益	976,586	2,102,435
法人税、住民税及び事業税	239,261	821,614
法人税等調整額	145,667	△61,802
法人税等合計	384,929	759,812
少数株主損益調整前四半期純利益	591,657	1,342,622
少数株主利益	39,093	19,110
四半期純利益	552,564	1,323,512

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	591,657	1,342,622
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,713	7,161
退職給付に係る調整額	—	488
その他の包括利益合計	12,713	7,650
四半期包括利益	604,370	1,350,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	565,277	1,331,162
少数株主に係る四半期包括利益	39,093	19,110

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土壌汚染調 査・処理事 業	廃石膏ボー ドリサイク ル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,205,557	569,967	8,775,524	404,702	9,180,226	—	9,180,226
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,192	3,192	125,311	128,503	△128,503	—
計	8,205,557	573,159	8,778,716	530,013	9,308,730	△128,503	9,180,226
セグメント利益	1,082,511	130,654	1,213,166	66,469	1,279,635	△316,118	963,517

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業、環境分析事業、BDF事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△316,118千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土壌汚染調 査・処理事 業	廃石膏ボー ドリサイク ル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,710,201	852,309	14,562,511	811,714	15,374,225	—	15,374,225
セグメント間の内部 売上高又は振替高	91	4,317	4,409	120,189	124,598	△124,598	—
計	13,710,292	856,627	14,566,920	931,903	15,498,824	△124,598	15,374,225
セグメント利益	2,287,518	54,764	2,342,282	124,631	2,466,914	△374,497	2,092,416

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業、環境分析事業、BDF事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△374,497千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。